



霞ヶ浦 NEWS

VOL.4 No.3

3月号 (通巻 28号)

(社)霞ヶ浦市民協会 〒300-0033 茨城県土浦市川口2-13-6

TEL 0298-21-0552 ・ 21-0660 FAX 0298-21-6209

郵便振替口座 00120-9-726025 / 名義:(社)霞ヶ浦市民協会



霞ヶ浦導水高浜機場見学

霞ヶ浦導水「高浜機場」地下導水管の中で

目をみはる巨大な空間

徳能明浩 (土浦市)

去る1月31日、石岡市高浜で行われた霞ヶ浦ジュニアレンジャー養成講座を息子と受講しました。

今回は、野鳥観察と霞ヶ浦導水高浜機場の見学ということで、息子ともども、わくわくしながらの参加でした。

北風の吹く寒い日でしたが、快晴に恵まれ、霞ヶ浦でのバードウォッチングを楽しみました。日本野鳥の会や霞ヶ浦市民協会の方々の指導のもと、双眼鏡の使い方など、一から教えてもらい、双眼鏡の向こう側に見える野鳥の数の多さにたいへん感動しました。息

子は、初めて目にしたオオハクチョウの姿にすっかり心を奪われたようでした。

その後、霞ヶ浦導水高浜機場の地下トンネルを、建設省の案内で見学しました。長い階段を降りてたどりついた地下トンネルは、まさに巨大な空間でした。この大きなトンネルの中を、霞ヶ浦、那珂川、利根川の水が流れ、渇水時の水不足を解消するのだという説明を受けました。子どもたちだけでなく、参加した大人たちからも、この巨大な地下トンネルに流れ込む水の量の多さに、驚きの声があがりました。地下にこのような大きなトンネルを造りあげるという技

術力の高さには目を見張るものがあります。工事はあくまでも人為的なものですが、水の浄化作用など、自然に対して考えられた計画になっているということでした。

今回で今年3回目になるジュニアレンジャー養成講座でしたが、毎回息子にとっても、私にとっても大変興味深い内容ばかりで、自然に対して、関心と知識が深まったように思えます。そして、ジュニアレンジャーたちだけでなく、すべての子どもたちが、自然からの愛情をきちんと受けとり、また自然にたくさんの愛情を与え続けられるような大人になってほしいと思います。(会員)

会報の充実をめざして



霞ヶ浦NEWSアンケート座談会

本紙25号で会報「霞ヶ浦NEWS」についてのアンケートをお願いしたところ、30通近くの回答がありました。いずれもたいへん参考になる貴重なご意見ご提言でした。このアンケートをもとに、座談会を開催いたしました。

(敬称略)

出席者 磯山隆一 (会 員)
野口淳夫 "
野末たく二 "
司会 高木純子 (編集長)

高木 「霞ヶ浦NEWS」25号発行を契機に、アンケートをお願いしたところ、多くの回答をいただきました。この回答をもとに皆様からご意見をうかがい、会報編集の参考にしたいと思えます。

ー環境ホルモンの扱いはー

高木 環境ホルモンについての関心が多かったのですが、今後どのように取り上げていったらよいでしょう。

野末 環境ホルモンのシンポジウムを開催し、その結果報告を記事で掲載していましたが、そのような形で今後ともよいのではないかと思います。

野口 霞ヶ浦の水質として環境ホルモンがどう関わっているか、具体的なデータがあれば欲しいですね。

磯山 専門性の高いものなので、会報の中で扱うには、事実を正確に伝えるということから難しい問題ですね。書き方によっては誤解を与えてしまうこともあるし。

高木 そうですね、所沢のダイオキシン問題のようなこともありますからね。

ーバランス感覚が大切ー

高木 編集方針については、いかがでしょう。



野末たく二さん つくば市

「つくば市の命の水である霞ヶ浦を愛しく、思っています」
フリーランスエディター 40才

野末 霞ヶ浦市民協会は会員層は大変広いわけですが、ページ数の制約もあり、すべての人に配慮してバランスをとるのが難しいと思います。では、現状はといえば、ページ数の割にバランスがよくとれていると思いますよ。この感覚で続けてほしいですね。バランスという点は、一見地味で評価されない場合が多いのですが評価されていると思います。

野口 霞ヶ浦NEWS以外に出しているものがあるのですか。

高木 年報「霞ヶ浦研究」があります。

野口 学術的なものですか。

高木 学術論文、提言のほかに会の記録も掲載されています。

野口 ぼく個人としては、読み応えのある、学術的なデータのある理論的なものもいいですね。イベント的なものは内容が薄い気がします。また土浦周辺の話が多いと思うので、霞ヶ浦全体、逆水門の方までの問題を扱ってほしい。例えば、ぼくは八郷に住んでいますが、霞ヶ浦の水源を探るとかいうようなものです。その他では継続性のある読物、調査などもね。ぼくは舟



野口淳夫さん 八郷町

「公務員はなるべく早くやめて、半農、半漁(霞ヶ浦で)の生活をするのが夢です」
大学講師 55才

に乗りますので、季節による霞ヶ浦の状況の変化など湖を使う立場からの記事もほしいですね。

野末 野口さんはどのくらいの大きさの船に乗っていますか。

野口 長さ10mくらいの漁船です。銚子沖くらいまで行きます。水門も通ります。

高木 水門は自由に通れるのですか。

野口 はい、面白いですよ。ソウギョが船にバツタン、バツタン入ってきたりして。

高木 そういう面白いお話を会員だよりにぜひほしいですね。

磯山 800名近い会員がいますが、会員の方は協会の事務所などにあまりこないと思うので、会とのつながりは会報を通じてだけだと思います。そこから考えるとバランスが大切なのではないのでしょうか。会員の裾野を広げ

るためにも、マニアックにならずに、分かりやすい表現でバランスのとれたいろいろの情報の入っている読みやすいものがないと思います。

－双方向性のあるものを－

高木 会報を隅から隅まで読んでいただければうれしいのですが全部読んでいただけなくとも、誰もがどこかに関心を持てるようなページがあるという編集をしたいと思っています。今回のアンケートをみますと、歴史と文化が足りないのではないかと、生物についての話がほしい、霞ヶ浦全体をみると、森との関係を取り上げなければいけないとか、いろいろご要望があるのですが。

野口 会員の質問欄など、会員の関わる欄があるといいですね。双方向性のあるものね。

高木 読者からのおたより、ご意見などが、なかなかこないんですよ。

磯山 インターネットがあれば気軽に参加してくれるかもしれませんね。インターネットの質問に答えるというようなことで。私はインターネットの委員になっていますが、協会のホームページも近いうちに開きたいと思っています。

野末 メディアで双方向が実現できたら理想的ですね。しかし、現実には限りなく理想に近づけるということで双方向性が完璧にできたら会報の使命は終わったといえます。スペース的限界、ページ単位でのまとめを考えると、でき得る限りということで良いと思います。

むしろ、私が評価するのは、連続性のある水質のデーターとか、新聞の切り抜きなど、長年積み重ねていくことで価値が見いだせるものですね。

野口 霞ヶ浦関係の随筆もあったらいいですね。続き物の場合、楽しみにして読むんじゃないですか。以前、オランダ留学の話

は面白かった。またほかの活動をしている団体などの取材もいいですね。

磯山 いろいろなものを寄せてもらうといいですね。ひとつの案として、紙面を借りて写真展をするなどしたらどうでしょう。霞ヶ浦の昔の写真は結構保存している方がいると思います。本当は写真展ができればいいのですが、たいへんですからね。その場合情報を提供してくれる拠点がほしいですね。



磯山隆一さん

土浦市

「霞ヶ浦とは子どもの頃からの長いつきあいです。泳いだり釣りをしたり…故郷の水辺です」

自動車販売業 44才

－情報は足で稼ぐもの－

高木 情報というお話が出ましたが情報を集めるにはどうしたらいいでしょう。

野末 いろいろなタウン紙に情報があふれているので、イベント情報はそちらにまかせて、会員の声重視でいくとかして、イベント情報とかはそんなにいらないのではないのでしょうか。

磯山 メインは協会が今何をやっているかということですね。

野末 そうですね。メッセージ性とか、きちんとしたデータの積み重ねなどが地味だけど大事なと思います。それは一見するとマンネリのように映ります

が機関誌を一からきちんと出していくひとつのスタンスだと思います。情報は足で稼ぐものです(笑)。

磯山 情報を集めるには、各

地に情報提供委員をおくこともいいですね。

高木 いま、協会に流域支部構想がありますので、それができれば流域の情報が集まってくるのではないかと期待しています。

－昔の人の知恵は文化－

高木 歴史と文化をという声がありますが、どうとりあげたいいいでしょうね。

野口 霞ヶ浦から昔真珠が採れたとか、湖賊という海賊がいたとかいう話はよく聞くのですが、具体的には姿が浮かんでこないですね。霞ヶ浦周辺の村や町にはそのような、いろいろな昔話があると思うんです。舟運や地名にちなんだ話などがね。

磯山 そういうことを研究している方もいるでしょうね。

野口 自然と向き合って暮らしていた昔の人は、湖底の見えないところまでよく知っていて場所場所に「なんとかモダシ」というように名前をつけているんですね。昔の人の知恵を引き継いでいく、これも文化ですね。

野末 佐賀純一さんの『霞ヶ浦風土記』はそういう古老の話が多くついていますね。

水質の表がありますが、それに短くコメントを添えると、もっと表が生きてきますね。

高木 いろいろと貴重なご意見をありがとうございました。アンケートやご出席の皆様のご意見ご提言を生かしながら会報を作っていきたいと思っています。これからもお気づきの点がありましたら、ご意見をお寄せください。

学ぶ子達よ!素直で強くあれ!

須田義塾

小3~高3
受験指導

本部・高津教室 ☎0298-24-0761
高津第二教室 ☎0298-24-1751
高校生教室 ☎0298-24-8098
阿見S・C教室 ☎0298-88-8343

「霞ヶ浦NEWS」アンケート集計

アンケートの結果が出ましたのでお知らせいたします。項目は主なものを記載いたしました。

質問 1 これまでの特集記事で興味深かったもの

＜アオコ・環境ホルモン・水質調査＞
 ◇今年のアオコをどう見る
 ◇環境ホルモンと霞ヶ浦
 ◇消えたアオコの謎／水質調査の記事＜読物・レポート＞
 ◇北浦周辺のトピックス／新川の水質／アルゼンチン世界湖沼会議レポート
 ＜レポート・その他＞
 ◇カラスガイ発見できず／桜川、恋瀬川河口の変遷／ふるさとの川シンポジウム／家庭排水を利用しよう

質問 2 特集記事以外で印象に残ったもの

＜トピックス・会員だより・書評・1面記事＞
 ◇霞ヶ浦トピックス
 森は海の恋人／霞ヶ浦で環境ホルモン検出／霞ヶ浦就航歌／新川のさくら
 ◇会員だより
 水郷水都全国会議IN気仙沼／フナの話
 ◇書評
 「村の自然を生かす」「生きもの水辺」
 ◇1面記事
 環境に目を向ける企業／宍道湖・中海から見た霞ヶ浦
 ＜歴史・文化・情報＞
 ◇新霞ヶ浦紀行／映画「米」のビデオ化／琵琶湖博物館見学記／JICAの記事／飯田川のホタル情報
 ＜感想・その他＞
 ◇柳生博さんが土浦の出身であったこと／霞ヶ浦環境ホルモンの積極的に取り組んでいて感心する／カップの絵

質問 3 今後取り上げてほしいテーマ

＜最近の話題＞
 ◇環境ホルモン関連情報／ラムサール条約と霞ヶ浦
 ＜霞ヶ浦の情報＞
 ◇霞ヶ浦の生き物たち／歴史文化の記事／沿岸市町村の今昔／霞ヶ浦に生きる人々の様子／湖に関する身近なニュース／湖周辺のレジャー情報／沿岸各地の昔話や情景、水質など／ISO-14000と霞ヶ浦について／四季の霞ヶ浦だより／波消し／霞ヶ浦の現状
 ＜行政や団体の動き＞
 ◇霞ヶ浦環境センターの計画・進捗状況／ライオンズクラブなど他団体の霞ヶ浦浄化の広報記事／今企業がどれだけ環境に目を向けて製品を作っているか／霞ヶ浦についての研究・施策、市民活動、企業の取り組み／水質浄化運動の結果改善されたことの報告
 ＜流域の自然環境＞
 ◇筑波山・足尾山・加波山など山と森林、川／石けんについて／農薬や除草剤の使用について
 ＜会員参加＞
 ◇読者の声／主婦の登場による流域の自然環境紹介

質問 4 編集内容とレイアウトについて

＜カラー化と講演の要旨掲載＞
 ◇読みやすくとてもよい／写真が多く記事が分かりやすい／1年に1回はカラー印刷で／基調講演などの記事を掲載してほしい
 ＜編集方針の明確化と目次掲載＞
 ◇協会の意義と編集方針

を明確にし目次も必要。12月号には総目次も／表紙に主な記事の目次も印刷すべき／内容が難しく魅力的でない／山の手入れを抜きにして、河川湖沼の浄化はありえない

＜その他＞

◇ときどき専門用語が出てくるとそこを読み飛ばしてしまう／土浦市に偏った記事が多い／記事のど真ん中の関係ない写真は隅に寄せて

質問 5 その他の意見

◇湖岸に樹木とアシ・マコモ帯をボランティアで植えてはいかが／霞ヶ浦は昔の水質に戻ることは困難と思う、水田からの排水が肥料分を多く含んでいるため汚濁の影響が大きく、それは家庭排水の比ではない。農業排水は湖に入る前に充分処理しなければ、霞ヶ浦の水質はよくなる。協会は行政担当者となつてぶさに見てまわり、実情を把握して農業用水浄化の大キャンペーンと行動を起こしてほしい／釣り人、漁師の意見を取り上げてほしい／毎月の水質等情報に期待します／このアンケート結果の集計を掲載すべき／人工前浜を建設省に作ってもらいたい／悪い情報は必ず改善策をセットで流すべき／環境ホルモンの検出はショックその反面、魚料理の記事がのっているのはどうか／会員相互の話題交換の場とともに他の地域の人が興味深く楽しめるものに…

回答者構成

市町村名		年齢
土 浦 市	8 名	20代 2 名
つくば市	3 名	30代 4 名
石 岡 市	2 名	40代 5 名
阿 見 町	2 名	50代 8 名
霞ヶ浦町	2 名	60代 8 名
水 戸 市	2 名	70代 1 名
八郷・北浦・牛久・竜ヶ崎・鹿島・瓜連		(男17／女11)
柏市・弘前市・中伊豆町		計 28名

システムとしての〈森―川―海〉 魚付林の視点から



長崎 福三著

農山漁村文化協会 1950円

昨年、気仙沼で開催された水郷水都全国会議のテーマ「森は海の恋人」をそのまま表わすような本です。まえがきに、著者が「山の森、河川、そして海を一つのシステムとして理解し、林業、農業、漁業そして都市生活も、水を媒体としたシステムの流れの中で生きていかなければならない。そのシステムは、多くの地域的システムの集積である以上、その利用・管理の主体は地域社会でなければならぬ。川上から川下を含む流域社会に住み、生産活動をしている人びとこそが、その主役でなければならぬはずである」と述べているように、山の森、河川、海を一つのシステムとして理解する基本的な考え方が基調となっています。実例を引きながら初心者の人でも分かりやすく包括的に書かれています。

著者は1926年生まれ、日本鯨類研究所の顧問で、専門の魚類の生態から日本人の魚食文化に到るまで幅広い知識の持主です。

「最終の川下である海の側」からも、〈森―川―海〉のシステムを再構築して行くことに強い思いを抱いています。

内容の紹介

◆序 システムとしての〈森―川―海〉

江戸時代以前の日本人は、森から生まれる水の恵みの重要性を知っていて、自然を荒らさずに生産を続ける知恵を持ち、自然との共生をはかってきた。しかし、明治以降の開発によって、〈森―川―海〉のシステムは切断され、森も川も海も病んできた。

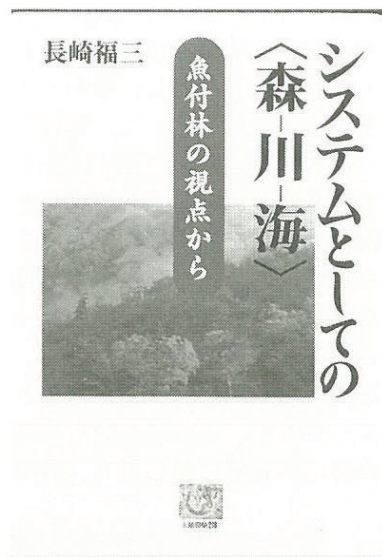
◆Ⅰ章 いのちをつなぐ水

川と海の基本的性質、よい漁場と川との関係、日本の水資源と森、治

水の歩みと漁業への悪影響（主にダム）

◆Ⅱ章 森はいのちの泉

森林の減少と保全（三大美林とその保全など）、多様な森の役割、ブナは生命の母（ブナ林の分布と重なる主要漁場、縄文人を育んだブナの森）



◆Ⅲ章 森が生み育んだ漁場

海に流れ込む真水と漁場、漁場と森・川の関係（駿河湾、オホーツク海、厚岸湖、屋久島など）

◆Ⅳ章 森と海をむすぶ魚付林の歴史（山・川・海を一体として扱う、地域全体としての総合的配慮）、分布と樹種、効用・管理（植林で生き返った漁場 1932年三重・島津村など）

◆Ⅴ章 森が消えてニシンも消えた、消えたニシンの謎、森林伐採とニシン（磯焼け、コンブの海中造林）

◆Ⅵ章 〈森―川―海〉を管理する新しいシステムを求めて

〈森―川―海〉のシステムを利用・管理するには、個人や産業の利益とともに公益性という要素が絡んでくるので、それを利用・管

理する主体は、直接利害が絡む地域社会である。地域社会が共同で所有し、地域密着型で利用・管理し、自治を行い、流域を単位として集まり〈森―川―海〉のシステム全体を維持・管理する。

各個人が流域の構成員としての自覚を持ち、「飲水思源」という考えを思い出して欲しい。本当の意味で地域管理を行い、将来に総合的責任を持つためには、その地域の資源や環境と関わり生活する必要がある。利用できる資源や環境の限度が明確になり、巧みに利用することができる。汚水や廃棄物などは地域内で処理しないといけなくなるし、そうしようとするだろう。一方で地域社会を維持発展させるためには、住民間の人間関係、地域間の社会関係を緊密で成熟したものとしていく必要がある。

漁民が山に木を植える活動

この本には、刺激になることが多く含まれ、イメージを膨らますのに役に立つと思います。ただ、残念で物足りないのは〈森―川―海〉を管理する新しいシステムについて、作者自身の構想や具体的なイメージがはっきりと示されていないことです。おそらく、漁民が山に木を植える活動が、新たなシステムづくりにつながっていくと考え、希望を抱いているからでしょう。

〈森―川―海〉のシステムとは生命のつながり、ネットワークです。システムの人間側の基本である地域社会は、地域住民の共同体であり、人間同士が共存していく場です。さらに共同体という考えを拡げてゆくと、人間と自然とが共存していく場でもあります。また地域の共有というのは、現在の人間だけによる共有ではなく、未来の世代、人間以外のすべての生き物たち、すべてのそこにあるものによって、共有されるものであり、また誰かが所有できるものではありません。

川口浩範 つくば市（会員）

霞ヶ浦 トビックス

シャジクモ霞ヶ浦で絶滅か

シャジクモ類は、湖沼、池、水田などに生育する水生植物で日本で74種類、世界で300種以上が知られています。この植物は、茎から葉が放射状に伸び、車軸のように見えることからこのように名付けられています。昔は透明度のよい水辺では普通に見られたものです。霞ヶ浦では、1964年の調査では4種類が確認されていました。ところが1994年から国立環境研究所の渡辺信さんらのグループが全国調査したところ、シャジクモが絶滅した湖沼が多いことがわかりました。霞ヶ浦でも全く発見できませんでした。

その原因について、研究者らは水質悪化による植物プランクトンの発生で透明度が低下し、シャジ

クモの光合成ができなくなったことが大きく影響し、さらに水位の変動、土砂の流入、植物を食べる魚類の増加、除草剤などの農薬汚染が複合的に絡んでいるとみています。シャジクモが絶滅した湖沼では他の沈水植物もほとんど見られず、湖沼環境の健全さの指標になりそうです。(2月20日付、毎日新聞)

ブラックバス放流禁止

コンクールなどもあって、ブラックバスは釣りの定番として人気がありますが、その反面在来魚を食い荒らす被害も出て、漁業者からは困った存在として嫌われています。この対策として、県は今回、漁業調整規則の一部を改正して外来魚の放流を禁止し、違反者に懲役や罰金を科す罰則を設けました。罰則は「6ヶ月以下の懲役または10万円以下の罰金」となっています。

対象となるのはブラックバスとブルーギルで、これ等を釣ってほかの河川や湖沼に移したり、外部

から持ち込んで放流することを禁止しました。釣ったものを元に返すキャッチアンドリリースは禁止されていませんが、持ち帰ってほしいと県は呼び掛けています。

メダカ絶滅の危機

このほど環境庁は、汽水域と淡水域に生息する魚類のうち、絶滅の危機にある76種をレッドリストとして発表しました。旧レッドデータブック(1991)であげられた魚類は22種でしたが、今回の見直しで、評価の対象とした約300種のうち、実に4分の1が絶滅の危機にあることがわかりました。その中には、メダカやホトケドジョウなど普通種と思われていた魚も含まれており、急速に身近な自然環境が悪化していることを示しています。

特にメダカは昔は霞ヶ浦周辺の水田や水路では普通に生息していましたが、護岸工事や圃場整備、それに水質悪化によって見られなくなりました。身近な水辺環境を守ることの大切さを、



JICA研修生(南米及びアジア、初めて参加のトルコ留学生)10名と当協会会員が「霞ヶ浦の市民活動」について霞ヶ浦インフォメーションセンター「水の交流館」で交流会を持った

セキスイは、暮らしの視点から環境にやさしい製品を、環境を損なわないシステムで生産し続けます。

一緒に暮らそう、セキスイと。

SEKISUI

積水化学工業株式会社

〒530-8565 大阪市北区西天満2-4-4 (堂島関電ビル)
ホームページアドレス <http://www.sekisui.co.jp/>

©積水化学は、経団連自然保護基金を通じて、アジアのさまざまな自然保護活動を支援しています。

水資源

水質
測定器

人間



セントラル科学株式会社

URL <http://www.hypermedia.or.jp/CKC>

茨城営業所/土浦市港町1-4-19ワコー第2ビル ☎0298-24-3398 FAX0298-24-6236
本社/東京都文京区本郷3-23-14ショウエイビル ☎03-3812-9186 FAX03-3814-7538
他支店/営業所 大坂・福岡・千葉・名古屋・横浜・仙台

メダカが教えてくれているようです。他に霞ヶ浦に生息する魚ではジュズカケハゼが指定されました。

環境ホルモン実態調査へ

平成12年度の茨城県予算が発表されました。昨今の経済情勢を反映して、2年連続の減額予算となっています。

その中で生活環境部門では、産業廃棄物排出処理実態調査事業に1900万円、内分泌かく乱化学物質実態調査事業に2000万円が計上されました。特に後者では、環境ホルモンによる汚染状況を把握するため、県内河川13地点と湖沼2地点で水質、底質を実態調査するという事です。

また昨年水害に遭った那珂川水系の災害復旧や改修事業に73億6500万円がつけました。



湖底蓄積ダイオキシン調査

環境庁は海底、湖底などに蓄積しているダイオキシンが年代順にどう蓄積されているかを調べるため、東京湾6カ所、瀬戸内海水島沖(岡山県)2カ所、霞ヶ浦(茨城県)3カ所、榛名湖(群馬県)1カ所の計12カ所で大規模調査を行うことを決めました。

調査方法は、長さ1mのパイプを底に打ち込んで泥を採取し、10年ごとのダイオキシン濃度変化を調べます。調査結果は夏頃までにまとめ、この調査をもとにしてダイオキシン対策に役立てることにしています。

新入会員(敬称略)

個人会員 杉浦 悟
今井 義昭

K-NETダイジェスト

1999年1月

本欄では霞ヶ浦に関する新聞記事の見出しを中心に、ダイジェストを収録しています。(収集紙、Y:読売、M:毎日、J:常陽、A:朝日)

6日 北浦湖畔に桜並木を整備、鉾田町町民参加の「千本桜構想」で新たな名所作り(J)環境庁、ダイオキシンなど指定4物質の排出濃度、測定を義務づける方針を固める(A)

9日 嫌気性微生物利用の水質浄化で注目集める相野谷川方式、藤代の「水質浄化の会」水問題に関心をと訴え(J)

11日 ダイオキシン抑制先進国並み環境焼却炉、あす牛久清掃工場火入れ式、「城取清掃工場」と18日バトンタッチ(A、13日A、J)霞ヶ浦・北浦ワカサギ記録的な不漁「前年の3分の1以下にも…」エビ、シラウオも漁獲量減(J)

12日 焼却炉のダイオキシン対策に整備費9割まで厚生省補助(J)

14日 カスミ、スチロール箱再生へ、環境に配慮し経費節減狙う(Y)

18日 減少続く県内の平地林、過去15年間で1万ヘクタール消滅、身近な自然を手弁当で守るボランティアグループ「いばらき森林クラブ」奮闘(J)

19日 城取清掃工場調整池底泥が高濃度汚染、1グラム当たり8千500ピコのダイオキシン、組合側、公表せず汚泥撤去(J、20日M、A、Y)水道の水質浄化に効果、抗菌セラミック活性炭、笠間市のメーカー地元の土から開発(M)

24日 建設省関東地方建設局洪水の被害を予想、ホームページで公開(Y)

25日 県科学技術振興財団29日から「霞ヶ浦水質浄化プロジェクト」で産官学共同の霞ヶ浦浄化取り組みの成果を発表(J、28日M)

27日 植物パワーで北浦の水質浄化、潮来マリーナの村山さん自費でミニビオパーク(A)白く優雅な姿、土浦市乙戸沼公園コハクチョウ今年も飛来(Y)

28日 ダイオキシン排出規制適用後「改修困難」など理由に全体の約23%の産業焼却炉1300カ所が休・廃止(M)

29日 「水資源確保の緊急性薄れたため代替案含め再検討」と緒川ダム再評価委が最終意見、計画の条件変化を指摘(J、Y)

2月霞ヶ浦観測結果

現在の水質:珪藻が繁茂し、透明度を夏期並みの50cmにまで低下させています。糸状藍藻類が増えてきているので、今後はオシラトリアやフォルミディウムが増えて、水色は暗緑色、透明度40～50cmに移行するでしょう。

項目	土浦港	沖 宿	崎 浜	志戸崎	麻 生
水温	8.7	8.7	8.6	8.5	8.5
pH	7.4	7.8	8.1	7.9	8.5
電気伝導度	362	308	324	352	312
透明度 cm	48	50	48	50	48
溶存酸素量	12.5	12.2	12.5	12.3	13.2
COD	5.9	7.9	8.5	8.4	8.3
D-COD					
NH4-N	0.14	0.09	0.08	0.22	0.12
NO2-N	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02
NO3-N	2.15	0.23	0.78	0.56	0.42
PO4-P	0.02	0.01	0.01	0.02	0.01
塩素イオン	43.2	43.6	44.0	46.8	57.4
Sio2					
Melosira	2200	1720	1540	1260	2920
Cyclotella	120	160	120	220	360
Synedra	2060	3010	900	2120	6040
その他の珪藻	460	240	520	600	360
珪藻類型	4840	5130	3080	4200	9680
Phormidium	140	120	180	540	1000
Oscillatoria	500	620	140	240	2440
藍藻類計	640	740	320	780	3440
緑藻類	600	420	600	480	280
原生動物	800	840	840	680	4160

単位:mg/L 湖岸からの採水(2月28日)

お知らせ

フナの「のっこみ」観察会

霞ヶ浦のフナは春になると、川から水田にさかのぼって産卵します。これは「のっこみ」と呼ばれ昔は霞ヶ浦沿岸の春の風物詩でした。現在は、コンクリート護岸や圃場整備で、この現象はほとんど見られませんが、土浦市石田地区のハス田では、まだ見られます。

浅い泥田で必死に子孫を残す営みを行うフナの群れは感動的です。

日時：平成11年4月17日(土)9:00~11:00
集合：境川河口の境橋（湖北下水処理場わき、土浦駅東口より徒歩15分）

主催：（社）霞ヶ浦市民協会

参加申込：TEL 0298-21-0552

タナゴ調査

昨年から継続しているタナゴ調査の本年度第1回。麻生、牛堀、東町沿岸を調査します。タナゴだけでなく魚類全般を対象としています。魚とりが大好きな方集まれ。

日時：平成11年4月18日(日)10:00~16:00

集合：麻生町天王崎展望タワー前

主催：（社）霞ヶ浦市民協会

参加申込：TEL 0298-21-0552

「メダカの学校」観察会

環境庁のレッドリストで、ついにメダカも絶滅の危機にひんしている魚類にあげられました。霞ヶ浦周辺でも、めったにメダカは見られなくなりました。しかし、土浦市の旧桜川ではかろうじてメダカが息しています。メダカの観察を通して、身近な環境を見直してみませんか。他にモツゴやフナ、タナゴなども観察しましょう。

日時：平成11年4月25日(日)9:00~11:00

集合：土浦駅東口階段下電話ボックス前

主催：（社）霞ヶ浦市民協会

参加申込：TEL 0298-21-0552

環境フォーラム&自然がおくる
癒しの歌コンサート

竜ヶ崎市のゴミ焼却場周辺のダイオキシン汚染問題は、その後どうなっているでしょうか。講演と歌を聴きながら、身近な環境について考えます。

日時：平成11年4月18日(日)13:00

場所：竜ヶ崎市民文化会館

講演：宮田秀明（摂南大学）

青山貞一（環境総合研究所）

歌：青木由有子

参加資料代：1000円



事務局日誌

1999年1月

- 4日 仕事始め
- 8日 県霞ヶ浦対策課年始挨拶／会報編集委員会
- 9日 インフォメーション運営委員会
- 10日 新川クリーンアップ
- 12日 建設省霞ヶ浦工事事務所年始挨拶／植物班打合せ
- 13日 那珂川水質調査協力
- 14日 インフォメーション「ケナフ」紙すき／環境研打合せ／組織委員会
- 16日 インフォメーション運営委員会／マップ編集委員会
- 19日 生物調査会議（下水道事務所）
- 20日 三役会議
- 21日 美浦村役場シンポジウム打合せ／三役会議
- 22日 植物班打合せ／東関東太平洋沿岸地域連携整備計画調査第1回建設省委員会（東京）
- 23日 ガールスカウト打合せ
- 28日 植物班打合せ
- 29日 理事会／茨城県地域結集型共同研究事業第1回成果発表会（土浦市民会館）／霞ヶ浦環境センター（仮称）基本計画第1回検討懇談会
- 31日 ジュニアレンジャー養成講座

[2月の水質]

観測地点：土浦港地先

日	水温 ℃	透明度 cm	酸素量 mg/L
2	6.0	56	12.1
5	5.2	48	12.2
8	5.7	62	12.2
9	5.7	62	12.5
18	6.6	50	12.6
19	7.3	55	11.7
28	8.7	48	13.7

1999年2月

- 1日 合併浄化槽学習会「霞ヶ浦女性教室」水の交流館
- 2日 合併浄化槽学習会「霞ヶ浦女性教室」水の交流館／生物調査植物班打合せ／美浦水質調査シンポジウム準備会
- 3日 阿見水質調査報告準備会
- 4日 霞ヶ浦北浦清掃打合せ
- 5日 生物調査植物班打合せ／マップ委員会／年報編集委員会／会報編集会議
- 9日 霞ヶ浦水辺ふれあい事業打合せ／国立環境研打合せ
- 11日 生物調査報告書提出
- 12日 国立環境研打合せ／阿見水質調査シンポジウム準備会
- 13日 新川プロジェクト／マップ委員会／来年度シンポ企画会合
- 15日 三役会／ジュニアレンジャー打合せ
- 16日 会報座談会／生物調査植物班打合せ
- 18日 「JICA研修生交流会」水の交流館／山王川水質調査協力
- 19日 「新川プロジェクト交流会」亀城プラザ
- 23日 「新川Aプロジェクト」打合せ／泳げる霞ヶ浦推進事業委員会
- 24日 理事会／県霞ヶ浦対策課と世界湖沼会議打合せ
- 26日 会報発送

「霞ヶ浦 NEWS」

Vol.4 No.3



会員募集中！ 個人会員：1口3,000円 法人会員・団体会員：各1口10,000円

発行日：1999年3月25日

発行所：（社）霞ヶ浦市民協会 〒300-0033 茨城県土浦市川口2-13-6

発行人：堀越 昭

編集人：高木純子

印刷所：（株）柳沢印刷所

編集スタッフ：沼沢 篤・今泉文彦・鹿志村啓子